

東しみん

東風 ~こち~

特集 救急センターのご紹介



救急科部長
安藤 雅樹

救急センターは、平成27年3月末に開棟した救急・外来棟の1階に位置し、救急外来および救急病棟からなる診療部門です。

救急外来には、主に救急車で搬送された患者さんを診療する処置室6室と、救急車以外の方法で受診された患者さんを診療する診察室7室（うち1室は隔離を要する感染症専用診察室）が設けられています。

すべての処置室において、症状の重い患者さんの診療でも十分に対応可能なスペースを確保し、また患者さんのプライバシーにも配慮した造りとなっています。診察室においてもすべて個室となっており、一般診察室だけでなく耳鼻科や産婦人科専用診察室も設置しています。救急外来のすぐ隣にはレントゲン撮影室やCT室を配置しているため、緊急検査を迅速に行うことが可能となっています。



救急CT室



時間外受付・救急外来

救急病棟は、夜間や休日に救急外来を受診し、緊急入院を必要とする患者さんのための専用病棟で、救急外来のすぐ隣に位置しています。16床ある病室はいずれも個室または2人部屋からなり、患者さんの病状に応じて入院する病室を決めています。救急患者専用の病棟であるため、入院翌日には一般病棟に移動していただくことになります。これは毎日多数来院される救急患者さんのために必要なことですので、入院直後の患者さんにはご負担をおかけすることになりますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。



救急病棟は救急外来のすぐ隣にあります。



救急病棟スタッフステーション



救急病棟 二人部屋

救急診療体制ですが、平日時間内に救急車で来院される患者さんは救急科を中心に、また夜間や休日に来院される患者さんは内科や外科系の当番医により救急診療を行っています。いずれの時間帯も全診療科協力体制のもとに診療を行っておりますが、救急外来での診療の多くは専門外の医師による応急処置となります。

また当院は臨床研修病院であるため、いずれの時間帯も指導医のもとで、臨床研修医による救急診療を行っています。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



臨床研修医は、安藤医師や指導医のもとで救急診療の経験を積んでいきます。

救急センターの看護体制は、39名の看護師が救急外来、救急病棟、放射線部および内視鏡センターの看護を行っています。救急患者さんの受け入れから緊急検査、治療を経て、緊急入院までを、一括した看護体制により、患者さんやご家族の負担を少しでも軽減できるようにサポートしていきます。

当院の救急搬送件数は名古屋市内の病院の中でも屈指の数を誇っています。この地域の皆様の健康を守るため、今後も救急センターを中心に病院一丸となって救急診療を行っていければと思っています。

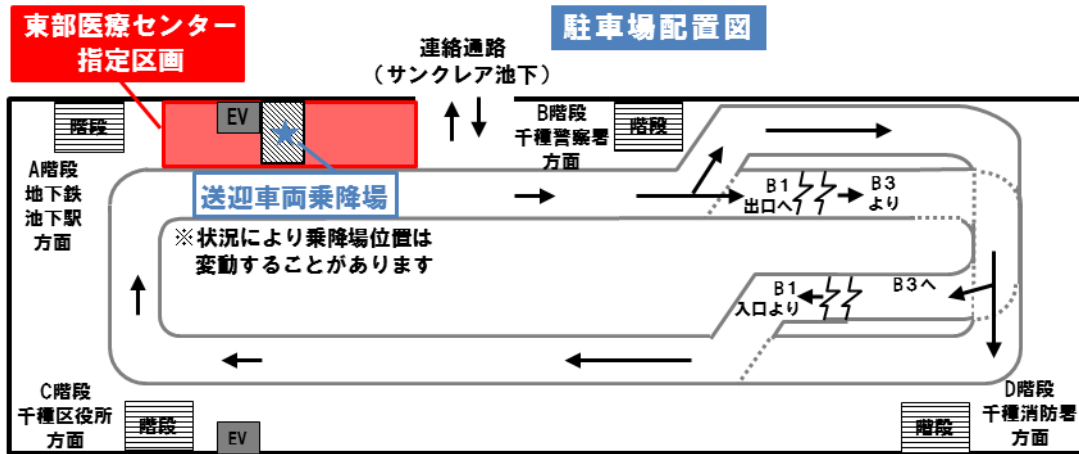


第二駐車場ののお知らせ

当院では病院敷地内駐車場の混雑緩和のため、第二駐車場を用意しております。
病院までの移動には**無料送迎車両**を運行していますので、是非ご利用ください！

第二駐車場 市営池下駐車場 地下2階

千種区覚王山8-29-1
(千種区役所駐車場と同じ場所)
Tel.052-761-6270



※指定区画が満車の場合は他のスペースに駐車できます。

※地下2階満車時には地下3階とすることがあります。

- ⚠️ ご注意ください!**
- ※車高2.1m、車長5.3m、車幅1.9mまで利用可能です。
 - ※無料認証後60分が経過すると、駐車料金が発生します。
 - ※8時～20時以外の入出庫については駐車料金が発生します。
 - ※24時～7時は、池下駐車場出入口が閉鎖され入出庫ができません。

傘いらず
入庫待ちなし

無料送迎車両を15分間隔で運行しています

《時刻表》

下線: 始発 終発

	池下駐車場発	東部医療センター発
8時	<u>15</u> 30 45	<u>15</u> 30 45
9～16時	00 <u>15</u> 30 45	00 <u>15</u> 30 45
17時	00 15 <u>30</u>	00 <u>15</u>

市営池下
駐車場

所要時間 約15分



東部医療センター
救急・外来棟北側入口

※満員、交通事情等により発車時刻が前後する場合や、天候や災害等により運休する場合がございます。その場合の交通費補償等は一切行っておりませんのでご了承ください。

第二駐車場および送迎車両に関するお問い合わせ
➤ 東部医療センター病院整備室 052-721-7171(代表)

イベント news

ヘルシーランチ教室を開催しました

in 今池ガスビル 料理教室



昨年初めて実施して好評をいただいた「ヘルシーランチ教室」を、今年も11月20日(金)に開催しました。
糖尿病治療中の方や予備軍の方、糖尿病について勉強したいという方など15名にご参加いただき、東部医療センター自慢の野菜いっぱいの料理を調理・試食しました。教室では、当院内内分泌内科部長 赤尾雅也先生のお話に始まり、実際の調理、そしてバイキング方式での料理選びまで、どなたも熱心に受講していました。

- メニュー
- 塩麹を使ってうまみを引き出した「魚介と鶏肉の塩麹焼き」
 - 豆腐を加えることでカロリーを抑えた「鮭の味噌マヨネーズ焼き」
 - 煮物では定番のひじきと切干大根を和え物に仕上げた「ひじきと切干大根のゴマ酢和え」
 - だし汁をとった後の昆布を再利用した「白菜と昆布の和え物」



この他に、野菜サラダと果物、コーヒーゼリーを準備して、お好きな料理を選んで食べて頂きました。

参加した皆さんからは、「とても勉強になりました」とか「次はいつ開催ですか?」など、うれしい催促の声も聞かれました。

診療科紹介 消化器外科



消化器外科 担当医師

江口 祐輝	上野 修平	越智 靖夫	安藤 菜奈子	森 洋一郎	長崎 高也
	木村 昌弘		谷脇 聡	柴田 康行	



第一消化器外科部長
木村 昌弘

今年10月に外科を再編成し“消化器外科”を新設いたしました。同時に呼吸器外科も新設し、外科を細分化しましたので、受診される患者さんにもわかりやすくなったのではないかと考えております。

消化器外科は8名の医師が担当しており、どの曜日に外来を受診されても専門医が診察できる体制になっております。



外科疾患において、消化器外科が担当する範囲は広く、

- ・食道から始まり、胃、小腸、大腸を経て肛門に終わる消化管
- ・消化吸収に重要な役割を果たす、肝臓、胆嚢（たんのう）、膵臓（すいぞう）

など、さまざまな臓器に良性から悪性までの疾患が存在しています。

当院の消化器外科では、医師全員が専門領域の幅広い知識を持ち、かつ全ての臓器のスペシャリストが在籍しておりますので、どのような疾患に対しても質の高い医療、質の高い手術を提供できると自負しております。



近年、多くの診療科において内視鏡手術が盛んに行われております。

ほとんどの手術が安全、確実に行われているのですが、時に内視鏡手術

での医療事故がクローズアップされております。結果として“内視鏡手術＝危険な手術”と思われる方も少なくないと思います。

一般的に、内視鏡手術を行うにはより高度な技量が必要です。さらに内視鏡手術を行う場合には、その適応を十分に判断することが重要です。

現在はあらゆる疾患に対してガイドラインが作成されており、当科でもガイドラインに則った治療を行っております。われわれは患者さんの安全と病気の根治を第一に考えつつ、積極的に内視鏡手術を取り入れる一方で、根治性や安全性が担保されない場合には、躊躇なく従来の開腹手術に移行するよう心がけております。



消化器外科の手術



まず患者さんが外来にお見えになると、消化器外科担当医が患者さんの病状をお聞きすることから始まります。

その後、必要十分な検査を行い、消化器外科カンファレンスで病状のみならず体力面も考慮し、最適な治療法を検討した上で、われわれが提案する治療方針を十分にご説明いたします。もちろん同時に第二、第三の選択肢もご提案し、患者さんご自身で納得できる治療方針を選択することがなによりも重要と考えております。

手術が必要な場合には、合併症をおこさない、少しでも身体にやさしい手術法を検討し、スタッフが一丸となって治療させていただきます。

しかし、どんなに優れた手術や治療を行っても、患者さんが必ずお元気になるとは限りません。手術前後の各診療科間の連携、手術時の適切な麻酔管理、精神的ケアを含めたきめ細かな看護をはじめ、薬剤師、理学療法士を含めた病院全体のスタッフによるチーム医療が不可欠です。

幸い、当院にはそれらの優れたスタッフが揃っております。

すべての患者さんに「東部医療センター消化器外科で診てもらってよかったな」とおっしゃっていただけるよう、日々の診療に従事していく所存です。

新しくなった消化器外科を、どうぞよろしくお願いいたします。



理学療法士 心臓リハビリテーション指導士 高岡 真司



「心臓リハビリテーション指導士」は、心筋梗塞や狭心症、心臓手術後など心臓の働きが低下した患者さん

が、体力を回復して社会や職場に復帰し、病気の再発予防や生活の質（QOL）を高めることを目的に、運動療法や食事療法、生活指導などを行います。

心臓リハビリテーションは、手術の翌日から開始します。患者さんの状態に合わせて少しずつ活動量を増やし、運動療法へ移行していきます。運動療法は、患者さん10名程で体操、筋力トレーニング、自転車エルゴメーターを約1時間行っています。また「心肺運動負荷試験」を行い、その結果をもとに退院後の運動や生活習慣についてアドバイスをしています。

これからも、より安全でより効果的な運動療法を提供するために、運動中に起こるかもしれない合併症などの知識や、患者さんが急変した時の対応方法を身につけておく必要があります。知識や技術の研鑽に努め、患者さんの病気の状態やライフスタイルを把握し、他の医療スタッフと連携を図りながら、ひとり一人に合った運動指導や生活指導を行ってまいります。



「レッグプレス」による筋力トレーニング



自転車エルゴメーター

心臓リハビリテーションでは、運動療法だけでなく、食事療法や禁煙も合わせて、継続していくことが大切です。入院中よりも退院後のリハビリがとて重要になってきます。

「継続は力なり」です。無理をせず、長く続けていくことを心がけていきましょう！

連携医紹介

東部医療センターは「地域医療支援病院」として、地域の「かかりつけ医」と連携・協力し、高度な治療・検査・入院・手術などの急性期医療を提供しています。

池下えぐちクリニック

当院は、外科・内科・胃腸科を標榜するクリニックです。

特定健診・後期高齢者健診また名古屋市がん検診や各種予防接種も行っています。患者さまのご要望があれば、往診や在宅医療にも対応しています。

多くの疾患は、健診により早期発見できれば治る可能性が高くなります。定期的な健康チェックをして、ご自身の状態を知ることが大切です。



「まず、池下えぐちクリニックに行ってみよう」と言われるような、地域に密着した、かかりつけ医を目指し、みなさまの健康管理のお手伝いをしたいと考えています。

地下鉄池下駅から徒歩すぐ近くです。不安なこと、心配なことがあればいつでもご相談ください。



院長 江口 武史 先生

《取材メモ》

江口院長先生は、東部医療センターが東市民病院であった頃、外科医師として勤務しておられました。今も当院の多くの医師と親交があります。

また医師会では“Fifty Fifty”というバンドでエレキギターとヴォーカルを担当し、つまり聴診器をピックに持ち替えて、観客を魅了しているそうです。



所在地：〒464-0067 名古屋市千種区池下2-1-8
(地下鉄東山線 池下駅1番出口 キンコース北へ入ってすぐ)
電話番号：052-763-1121



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	○	○	○	○	○
午後 4:00～7:00	○	○	○	○	○	—

【休診】土曜午後、日曜・祝日

市民健康講座

東部医療センターでは、患者さんや市民の方を対象に「市民健康講座」を毎月第3水曜日午後2時30分より開催しています。興味のある方はぜひご参加ください。



日時 平成28年1月20日(水)

午後2時30分～

講師 耳鼻いんこう科副部長

尾崎 慎哉

テーマ ～鼻炎・ちくのう～
よく聞けど、
どんな病気？

日時 2月17日(水)

午後2時30分～

講師 救急看護認定看護師

米澤 美千子
阿部 真由美

テーマ (仮)救急処置に
ついて



日時 3月16日(水)

午後2時30分～

講師 リハビリテーション科
理学療法士

庄田 好孝

テーマ 筋活しませんか？
Let's ロコチャレ！

会場 救急・外来棟4階
多目的ホール

参加方法

参加申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。定員200名になり次第締め切ります。(講義時間は1時間～1時間半です)

お問い合わせ 管理課
庶務係

病院ホームページや千種区広報、院内掲示などでもご案内します。

基本理念

市民の命と健康を守り、「奉仕」「満足」「笑顔」が見える、質の高い医療を提供します。



基本方針

市立病院として市民の健康のために貢献します。医療の安全と質の向上に努め、患者さんの権利を尊重します。

患者さんには以下の権利を有します

- ・個人の尊厳が守られる権利
- ・医療行為を自由に選択し、決定する権利
- ・平等で良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明を受ける権利
- ・プライバシーが保障される権利
- ・診療記録の開示を求める権利
- ・セカンドオピニオンを受ける権利
- ・要望を提案する権利

患者さんには以下の責務を果たしていただきます

- ・ご自身の健康に関する情報を提供する責務
- ・他の患者さんへの医療に支障を与えない責務
- ・医療提供者と協力する責務
- ・病院の規則・指示・助言を守る責務

発行者／名古屋市立東部医療センター
広報委員会

(年4回発行)
名古屋市千種区若水1-2-23

TEL052-721-7171

<http://www.higashi.hosp.city.nagoya.jp/>

東部医療センター

検索

